

PHOTO-Series

Computer Aided Engineering Systems

リリースノート

Ver7.1

WINDOW 2000/ XP / Vista / 7

株式会社 フォトン

PHOTO-Series Ver7.1 リリースノート

本書には、「PHOTO-Series Ver7.1」のリリースに関する情報が記載されています。

「PHOTO-Series Ver7.1」対応製品は、以下の通りです。

GRADE、WAVEj ω 、WAVEBM、WAVETD、MOTION、EDDY、EDDYj ω 、EDDYTM、
MAG、MAGTZ、VOLT、VOLTST、VOLTj ω 、VOLTBM、THERMO、ELAS、ELASj ω

内容

PHOTO-Series Ver7.1 リリース情報

1. 更新情報

今回のバージョンアップの概要

2. GUI 機能強化について

株式会社フォトン

〒639-0237

京都府相楽郡精華町光台7丁目27番1

TEL:0774-98-0696 FAX:0774-98-0697

URL:<http://www.photon-cae.co.jp/>

E-mail:info@photon-cae.co.jp

サポート専用:support@photon-cae.co.jp

1. PHOTO-Series Ver7.1 更新情報—全製品共通

- ・今回 Ver7.1 へのバージョンアップで、GUI 機能を更に強化しました。詳細は次頁以降を参照してください。
- ・Femap ニュートラルファイル Ver10.1 に対応しました。詳細は『コマンドリファレンス Ver.7.1』を参照してください。
- ・コマンドラインによる起動、実行、終了処理の実行を可能にしました。『コマンドリファレンス Ver.7.1』を参照してください。
- ・Windows 7 (32bit、64bit) に正式対応しました。

その他

Grade ファイル(grd)の仕様を変更しました。

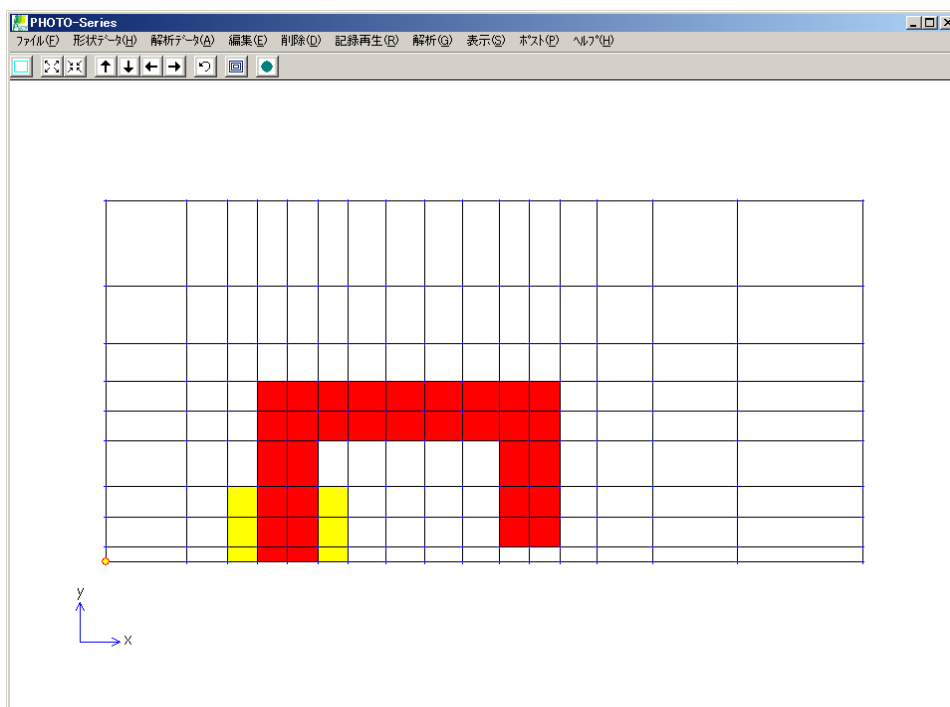
2. GUI 機能の強化について

Ver7.0では一部メニュー項目にのみ OpenGL を用いた操作性向上を図っていましたが、ver7.1は、ほぼ全機能に対応しました。以下主要な強化項目となります。

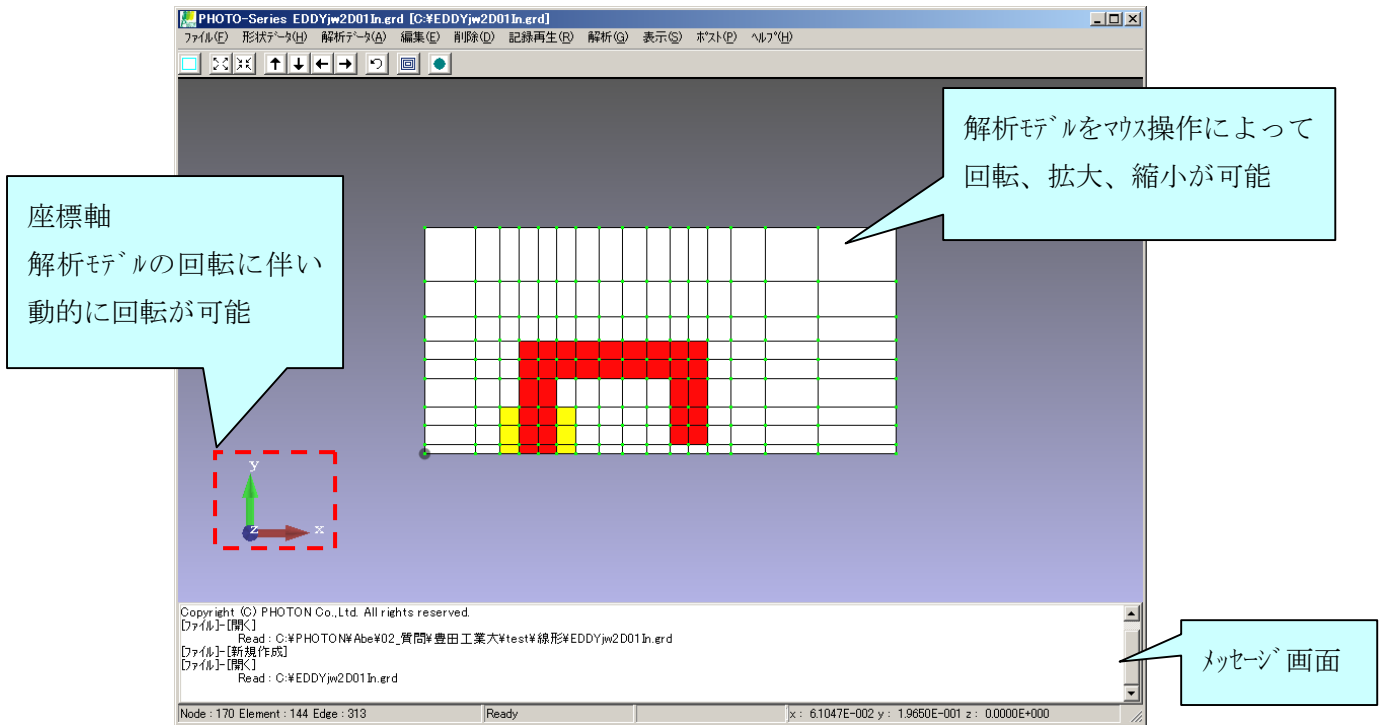
1. 画面構成及びデバイスインタフェース

Photo-Series Ver7.1 のウィンドウは以下の様に変更しました。

Ver7.0 のウィンドウ構成



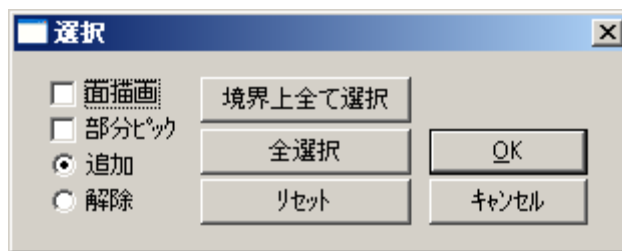
Ver7.1 のウィンドウ構成



- ・ マウス操作によりモデルの平行移動、回転、拡大、縮小が可能となりました。
- ・ キーボードの[Ctrl]+[C]を押下するとビットマップデータをクリップボードに転送します。

2. 選択操作の統一化

点、線、節点及び要素の選択時の操作を全て以下の様に統一しました。選択操作は以下の選択ダイアログ及びマウス操作にて行います。

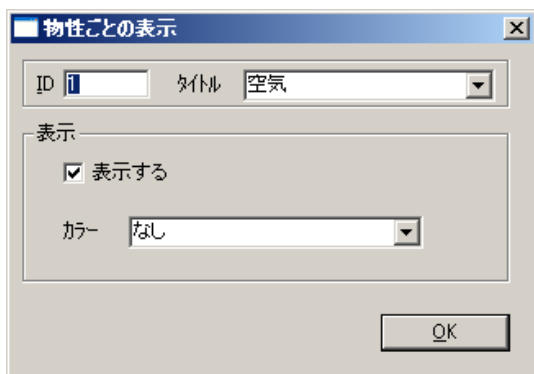


またマウスピック、要素、線の部分領域（矩形又は円形）ピックも可能です。

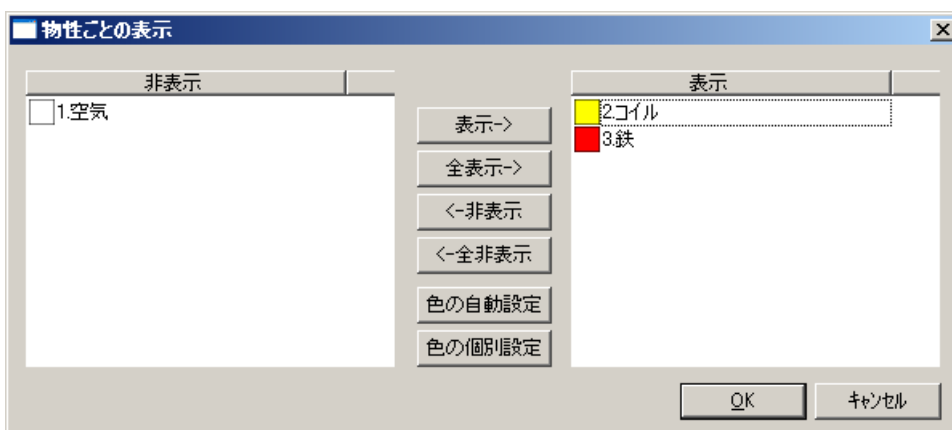
3. 物性ダイアログの操作性強化

Photo-Series Ver7.1 の「物性ごとの表示」ダイアログボックスは以下の様に変更しました。

Ver7.0 のダイアログ



Ver7.1 のダイアログ



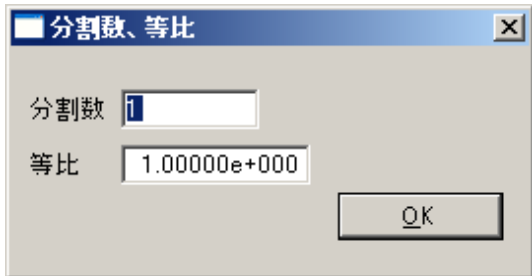
- ・ Ver7.1 では「色の自動設定」ボタンを押下することにより自動で物性に色を設定します。
- ・ リストのデータをマウスでダブルクリックすることで表示から非表示、非表示から表示に変更ができます。
- ・ 色を個別に設定したい場合は「色の個別指定」ボタンを押下することにより、以下の画面から色を選択することができます。



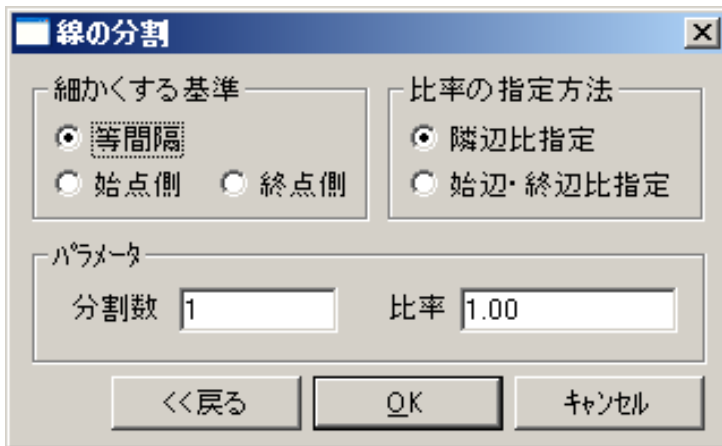
4. カーブ分割の機能強化

Photo-Series Ver7.1 の「物性ごとの表示」ダイアログボックスは以下の様に変更しました。

Ver7.0 のダイアログ



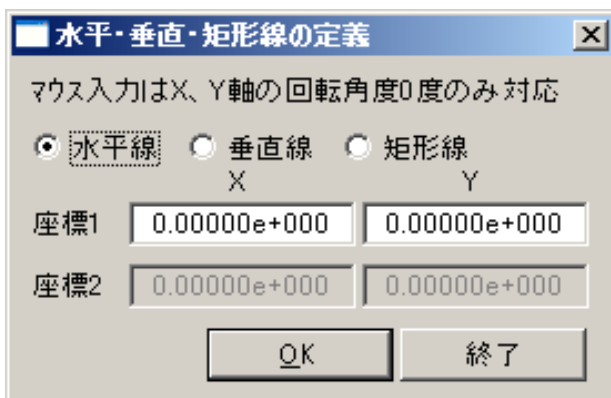
Ver7.1 のダイアログ



- ・ 細かくする基準や比率の指定方法を設定することにより、状況に応じたカーブ分割を可能にしました。

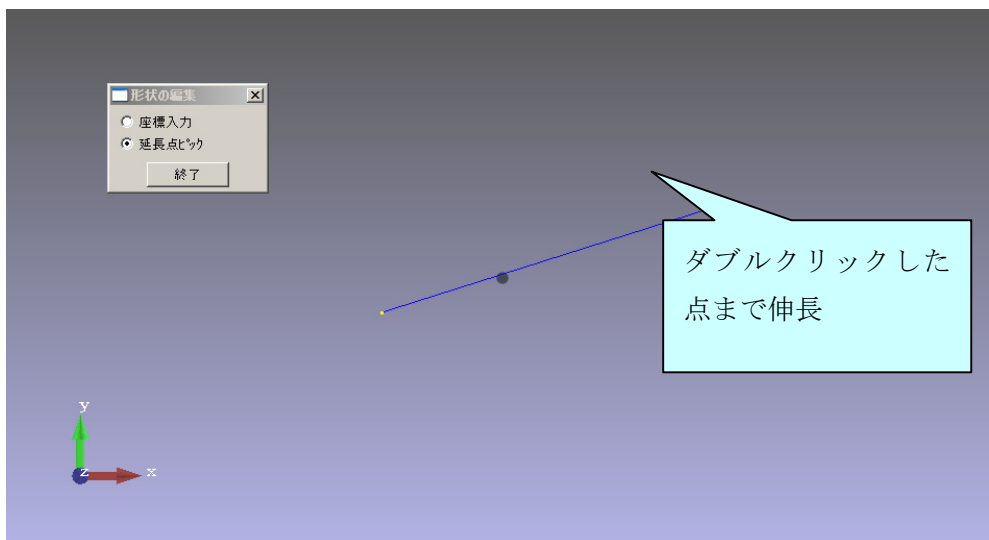
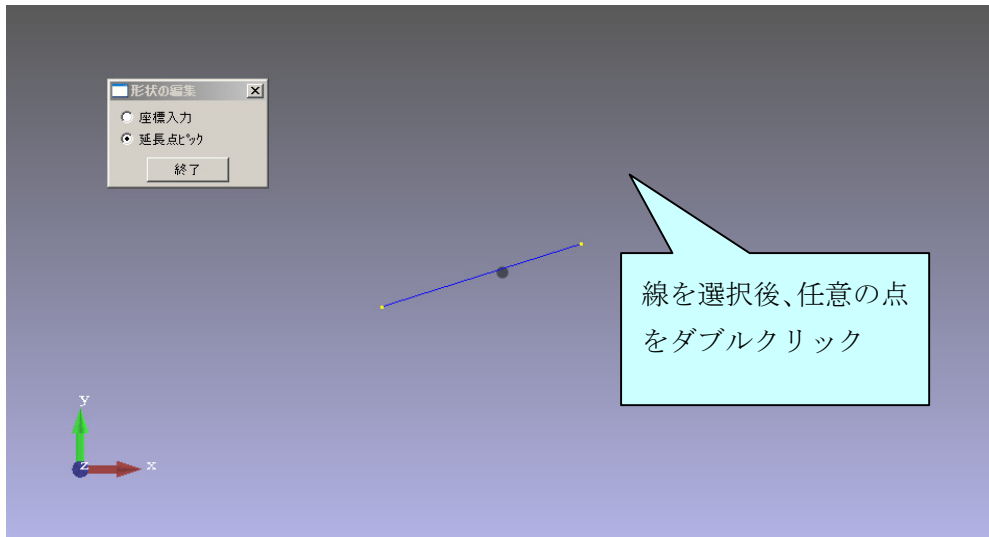
5. 水平・垂直・矩形線の定義

Photo-Series Ver7.1 では新たに水平線、垂直線及び矩形線の定義が容易に入力できるようになりました。



6. 線の延長点 作成機能

Photo-Series Ver7.1 では新たに一度作成した線や円弧を容易に伸縮させる機能を追加しました。

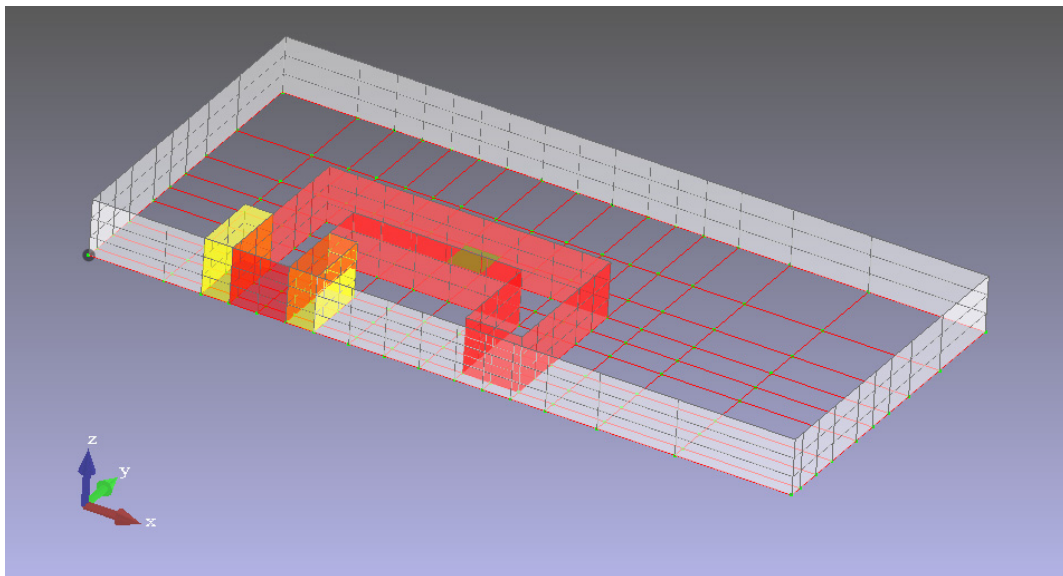


7. 次元メッシュ作製機能の強化

Photo-Series Ver7.1 では新たに 3 次元押し出しメッシュデータ作成用の拡張機能を追加しました。

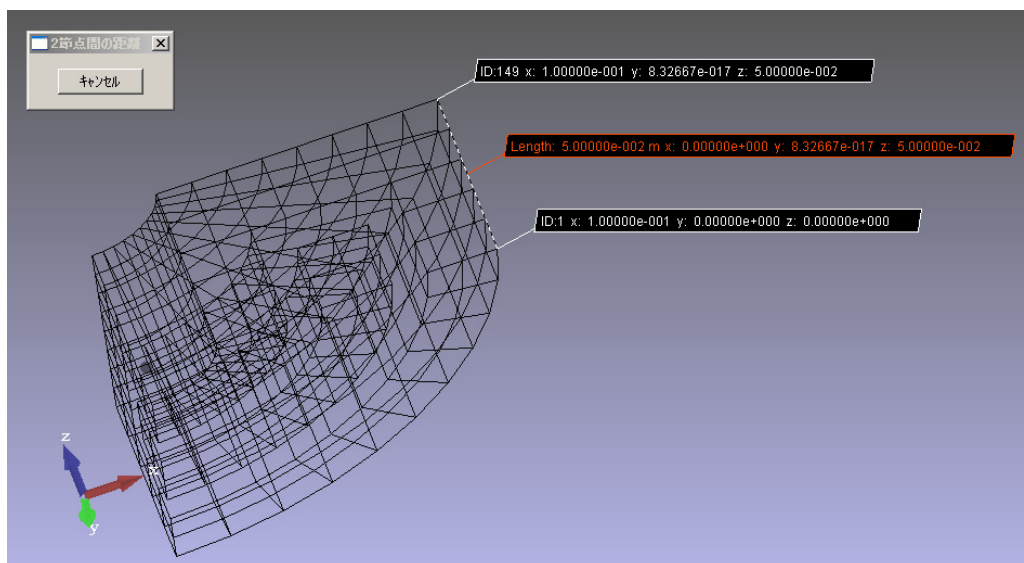


- ・ 押し出す距離をリストにて随時確認できます。
- ・ 分割数、等比、細かくする基準を設定できます。
- ・ 押し出す前にプレビュー機能で押し出し後の仮想データを構築し視覚的に確認できます。



8. 次元メッシュ作製機能の強化

Photo-Series Ver7.1 では解析に関する幾何情報の表示機能を強化しました。



- ・ 幾何情報を表示しながらモデルの平行移動、回転、拡大・縮小が可能です。
- ・ メッセージ画面に幾何情報を表示します。
- ・ 対象となる機能は節点座標、要素中心座標、2節点間の距離、3節点のなす角度、点座標、2点間の距離、2直線のなす角度、アウトプットベクトル、アウトプットコンターとなります。